＊2019年12月改訂（第２版）
2010年４月作成

| 日本標準商品分類番号 |
|---|
| 873211 |

| | | |
|---|---|---|
| ＊ | 承認番号 | 30100AMX00026 |
| ＊ | 薬価収載 | 2019年12月 |
| | 販売開始 | 2010年６月 |
| | 再評価結果 | 1986年12月 |

**貯　　法**：気密容器、室温保存
**使用期限**：３年（ケースに表示の使用期限を参照すること。）

カルシウム剤

# ＊乳酸カルシウム水和物＜ハチ＞原末　（細粒状）

日本薬局方　乳酸カルシウム水和物

## 【禁忌（次の患者には投与しないこと）】

（1）高カルシウム血症の患者［症状を悪化させることがある。］
（2）腎結石のある患者［症状を悪化させることがある。］
（3）重篤な腎不全のある患者［腎不全を悪化させることがある。］

## 【組成・性状】

**１．組　成**
本品１ｇ中　日局乳酸カルシウム水和物１ｇ　含有。

**２．性　状**
白色の粉末又は粒で、においはなく、味はわずかに酸味がある。
本品１ｇは水20mLに徐々に溶け、エタノール（95）に溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。
常温でやや風解し、120℃で無水物となる。

## 【効能・効果】

○低カルシウム血症に起因する下記症候の改善
　テタニー
○下記代謝性骨疾患におけるカルシウム補給
　妊婦・産婦の骨軟化症
○発育期におけるカルシウム補給

## 【用法・用量】

乳酸カルシウム水和物として、通常成人１回１ｇを１日２～５回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

## 【使用上の注意】

**１．慎重投与**（次の患者には慎重に投与すること）
（1）活性型ビタミンＤ製剤を服用している患者［高カルシウム血症があらわれやすい。］
（2）強心配糖体の投与を受けている患者［強心配糖体の作用を増強するおそれがある。］
（3）高カルシウム血症があらわれやすい病態の患者

**２．重要な基本的注意**
長期投与により血中及び尿中カルシウムが高値になることがあるので、**長期投与する場合**には定期的に血中又は尿中カルシウムを検査することが望ましい。
また、**高カルシウム血症**があらわれた場合には投与を中止すること。

**３．相互作用**
**併用注意（併用に注意すること）**

| 薬剤名等 | 臨床症状・措置方法 | 機序・危険因子 |
|---|---|---|
| テトラサイクリン系抗生物質（ミノサイクリン、ドキシサイクリン、テトラサイクリン等） | 併用薬剤の作用が減弱するおそれがあるので、投与間隔をできるだけあけるなど注意する。 | カルシウムと難溶性のキレートを形成し、薬剤の吸収が阻害される。 |

**４．副作用**
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。
**その他の副作用**
（1）**長期投与**（頻度不明）
　カルシウム剤の長期投与により、高カルシウム血症及び結石症があらわれることがある。
（2）**その他**（頻度不明）
　便秘があらわれることがある。

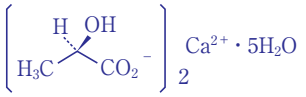
**５．高齢者への投与**
一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

## 【薬効薬理】

乳酸カルシウム水和物は、乳酸基よりもカルシウムの作用を利用して用いられる。
カルシウムは細胞膜の透過性を低下させ、組織の水分親和性を減じる。また、塩化ナトリウムとの置換の傾向がある。
カルシウムは交感神経興奮作用があるので、アレルギー、ショック、喘息などに効果を示す。

## 【有効成分に関する理化学的知見】

**一般名**：乳酸カルシウム水和物（Calcium Lactate Hydrate）
**化学名**：Monocalcium bis[(2*RS*)-2-hydroxypropanoate] pentahydrate
**分子式**：$C_6H_{10}CaO_6 \cdot 5H_2O$
**分子量**：308.29
**構造式**：




及び鏡像異性体

## 【包　　装】

500g　　1.0ｇ×1050（ヒートシール包装品）

## 【文献請求先】

丸石製薬株式会社　学術情報部
〒538-0042　大阪市鶴見区今津中2-4-2
TEL.0120-014-561

発売元
丸石製薬株式会社
大阪市鶴見区今津中2-4-2
製造販売元
東洋製薬化成株式会社
大阪市鶴見区鶴見2丁目5番4号